

令和3年度 中央区立月島第一小学校		外部評価報告書	
外部評価委員：高木 悦子 山口 啓朗 増田 光辰 木皿儀 孝子 黒川 悦子 長島 広隆			
報告書作成者：株本 光子			
評価時期 令和4年3月			
<b>1 重点目標の評価</b>			
<b>重点目標1「基礎的・基本的な学習内容の理解と学びに向かう力を育成」</b>			
<p>1年間のゴールとして設定した評価指標について、教職員のほぼ100%が概ね達成したと捉えている。その根拠として、タブレット端末を活用して多様な授業形態の実施による「個に応じた授業」、1週間に2～3日各学級で実施した補充教室等による「学習のつまずきの解消」、タブレット端末を介した協働学習、興味・関心、学習進度に合わせた学習が、「学習習慣を身に付け、自ら進んで課題に取り組む」きっかけになったと分析している。併せて、全国的なデータとも比較できる「中央区学習力サポートテスト（毎年第4・第5・第6学年実施）」の国語、社会、算数、英語（第6学年のみ）とも全国値を超えた。90%の児童が「授業の内容がよくわかる」と回答したアンケートなど、様々データを分析した。</p> <p>一方、保護者の10%～35%はそうは思わないとの回答している。保護者の回答との差をどう見るか明らかにし、結果を踏まえた改善策を次年度に生かしていただきたい。学校は、個に応じた授業を提供し、児童は学ぶ喜びを味わっていることが理解できた。次年度の取り組みに期待できる。</p>			
<b>重点目標2「規範意識・他者への思いやりの醸成といじめの根絶」</b>			
<p>ほぼ100%の教員が、求める児童の姿がみられる、85～90%の保護者がそうであると評価している。児童のアンケートでは、「困っている友達を見かけたら助けた」「友達や先生に元気よく挨拶をしている」「学校の約束を守る、みんなで使うものを大切にする、友達と仲良くする」に85～90%が肯定的な回答をしている。目指す姿が児童に表れ、児童が自覚をしていることがわかる。学校では、学習・学校生活を通して友達に関わる場面を意図的に設定し、「みんなで」「協力」しながら、異なる考えも認め、よりよくまとめようとする力が育ってきていると捉えている。関係組織が一体となり、目標の実現に向けて努力した学校の力を感じる。</p> <p>家庭学習についても児童の自覚が増すよう、計画的に保護者と連携し、取り組んでいただきたい。</p>			
<b>重点目標3「健康な生活習慣の確立と体力の向上」</b>			
<p>児童の成長について「自分の健康や体力に関心がある」「目標に向け、継続的に運動に取り組んでいる」「積極的に外遊びをし、体づくりをしている」について、100%の教員は「そうである」、約25～35%の保護者は、「そうは思わない」と回答し、20%の児童が自分の「体力づくり」に否定的な回答をしている。学校がとらえた児童の体力調査では、5年生男子以外は、東京都、中央区の平均を下回った。また生活に関するアンケートでは、携帯等の視聴時間が2時間以上の児童が約30%、高学年は40%以上など睡眠時間にも影響していると分析している。</p> <p>学校は、様々なアンケート結果やデータから分析している。原因を明らかにし、次年度の改善に生かしていただきたい。重点目標1・2のような教職員の努力による成果を、健康な体づくりとも関連付け成果に結びつけるようにしていただきたい。</p>			
<b>2 今後の改善に向けた意見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重点目標を実現するとどんな児童に成長するかを保護者・地域・教職員でさらに具体的に共有する。「基礎的な体力づくりは学習面にも大きな影響がある」と外部評価委員から意見があるように、重点目標1～3の関係も明らかになるとさらに効果的な取組になるであろう。</li> <li>○ アンケートの実施に当たっては、教員の取り組んでいる状況（評価項目）、児童の成長した姿（評価指標）とを併記すると成果や問題点が適切に一層適切に考察できる。</li> </ul>			
<b>3 その他</b>			
学校の一年間を拝見し、教職員の熱意を強く感じる事ができた。今後に大きな期待ができる。			

